



摂津市消防本部

水上オートバイが寄贈されました

当市では、平成20年から市内事業者である「有限会社タキモトワークス」様より水上オートバイの無償貸与を受け運用してきましたが、その更新にあたり、令和2年2月18日に同社から新たに最新鋭の水上オートバイが寄贈されました。

水上オートバイは機動性及び旋回性に優れ、狭路や障害物がある水域でも迅速な救助活動が行える特徴があります。主に近年多発している台風や大雨による河川の氾濫で市街地が冠水し、動力ボートでは近づけない浸水家屋等に取り残された要救助者の救出に効果を発揮します。

また、本市消防本部と共同研究し、同社が開発した水難救助艇「SEASLED」の連結が可能であるため、人員輸送の他、要救助者を容易に引き揚げることができ、その場で心肺蘇生や救命処置が施せることから救命率の向上にもつながります。

今後も新たな水上オートバイとともに、市民の方々の安全・安心を確保できるよう努めます。



泉州南消防組合 泉州南広域消防本部 予防行政の充実強化

泉州南広域消防本部は、平成25年の消防広域化から本年度で8年目を迎え、今後更なる飛躍を図るためには、災害対応力の増強のほか、予防行政の充実強化が重要な課題であると考えています。

そのため、予防要員のモチベーション向上と全体の資質向上を図るため、本年6月1日に予防技術資格者認定証交付式を開催し、今年度の合格者に消防長から認定証及びバッジが手交され、激励の言葉をいただきました。バッジは資格区分ごとに星マークが増え、職員のステータス向上とやる気度アップにつながると期待しています。

また、本部予防課では全体のスキルアップのため、実務型研修として一定期間各署員の受入を行っています。参加者が予防実務に精通し、その経験知識を水平展開することで組織のレベルアップが図れると考えています。

これらの取組みをはじめ、今後も予防行政の充実強化のため知恵を絞り、新たな対策を講じていきたいと思えます。